

「中学日本一」へ

入学式では、昨年12月に両国国技館で行われた全日本小学生相撲優勝大会で優勝した金沢市の片桐恭晟さんと、決勝で敗れた大平真輝さん（新潟県南魚沼市出身）のライバル同士が「再会」した。相撲部1期生の仲間となる2人は「中学日本一」を目標に掲げ、さらなる精進を誓った。

片桐さんは、小学生最後

相撲 小学生1、2位 片桐、大平さん

の大会となった白鵬杯を制し、全国4冠を達成した期待の星。身長164cm、体重110kg超の堂々とした体格で、特注サイズの制服に袖を通して父優一さん（27）と母亜希子さん（40）とともに式に臨んだ。

「新しい環境で同じ小学校の友達とも話せたのでよかった」とリラックスした様子で、「校歌を聞いて一からまた頑張りたい思いが



相撲道場の前で笑顔で記念撮影する片桐さん（左）と大平さん
|| 金沢学院大附属中

切磋琢磨誓う

強くなった」と話した。大平さんは「充実した環境で強くなりたい」との思いから、片桐さんよりも先に入学の意志を固め、故郷を離れた。片桐さんにとっては、最高の稽古相手にもなり、式後は相撲道場の前で一緒に記念撮影し、切磋琢磨を誓い合った。

中学生部員は、金沢学院大や同附属高の「先輩」と同じ土俵で腕を磨く。同大相撲部OBの優一さんから「勉強も相撲も頑張ってほしい」とエールを受けた片

桐さんは「1年生から全国大会に出て勝負したい」と意気込んだ。